

作業療法室の紹介



一般財団法人黎明郷

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター



目次

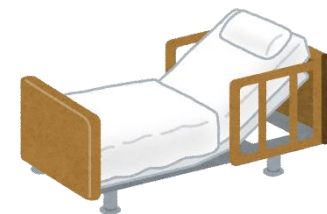
- 当院の作業療法について
- 作業療法室の教育体制
- スタッフの声
- 室長から

当院の作業療法について①

➤ 脳卒中急性期の作業療法

医師の指示のもと、入院初日からADLの再獲得に向けて介入しています。脳卒中急性期のリスク管理の知識が必要ですので、回復期病棟で経験を積んだ作業療法士を配置し、患者様やご家族の不安が少しでも軽減できるように努めています。

また、回復期病棟でリハビリテーションを継続される患者様の場合、環境変化が患者様の自立を妨げないよう回復期病棟のスタッフと連携しています。



➤ 脳卒中回復期の作業療法

ICFの『参加・活動』の拡大を目指して、自分でできることが増やせるよう作業療法を計画・実行しています。患者様に合った病室の環境設定はもちろん、自宅など退院先の環境を視野に入れた動作練習を行います。必要に応じて他職種と協力しながら家族へ介助のアドバイスをを行い、安心して退院を迎えられるように努めています。



当院の作業療法について②

➤ 訪問・外来リハビリテーション

退院後にリハビリテーションが必要な方に対し、医師の指示のもと訪問や外来リハビリテーションを実施しています。患者様が退院前する前に入院中の担当リハスタッフと連携し、安心して在宅生活が送れるよう支援しています。

➤ 心臓リハビリテーション

『心臓リハビリテーション指導士』として、作業療法士1名が在籍しています。当院の“心臓リハビリテーションチーム”の一員として多職種と一緒に活動しています。



➤ 麻痺の改善に向けた治療

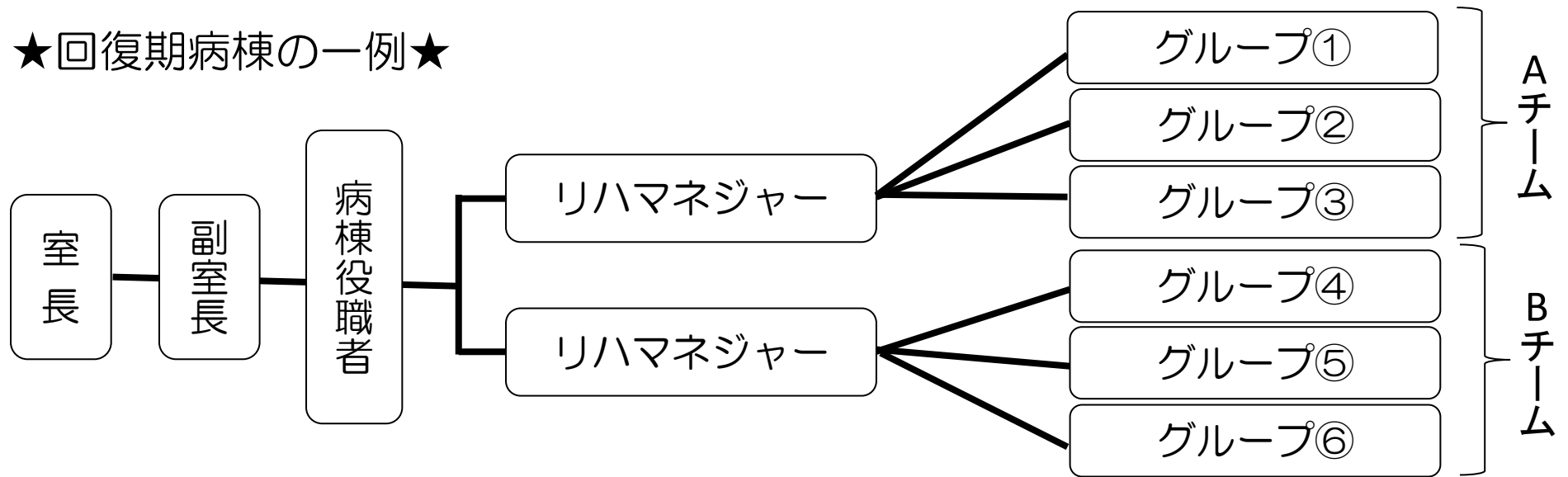
上肢の麻痺に対しては、促通反復療法、電気刺激療法、CI療法、上肢用ロボット型運動訓練装置（ReoGo-J）などを取り入れています。

また、スタッフの技術の維持・向上のため、計画的に研修会への参加や院内での実技練習に取り組んでいます。

作業療法室の教育体制①

作業療法室では室長・副室長が全体の指揮を執り、各病棟の役職者（リハ士長・副リハ士長）と連携した教育体制をとっています。

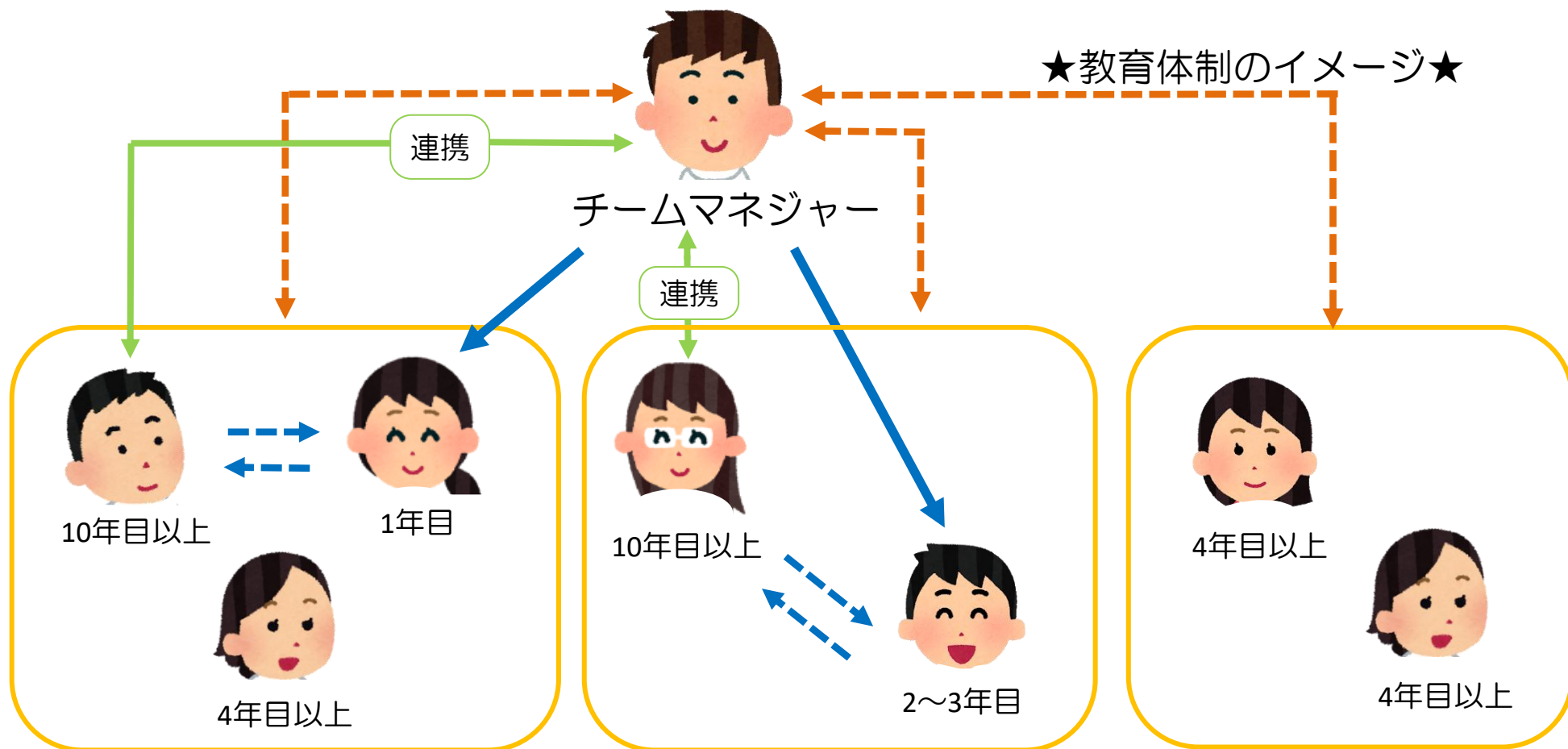
★回復期病棟の一例★



回復期病棟では病棟役職者とリハマネジャーが連携して業務を指揮し、2つのチームに分かれてスタッフを教育しています。チームはさらに3つのグループに分かれており、1グループは2～3名の配置です。なお、人員配置は理学療法室と協議のうえ決定しています。

作業療法室の教育体制②

チームのマネジャーが新人（1年目）の教育を担当しますが、グループ内のスタッフも教育をサポートします。また、チームマネジャーはチームで担当している患者様のリハビリテーションの進捗等をマネジメントしています。



作業療法室の教育体制③

自己評価表を使用して作業療法士として必要な技術を確認しています。
毎年個人目標を掲げ、自己研鑽のきっかけづくりと環境の支援をしています。

★評価項目の一例★

- ＜ステップ1＞ 社会人・職員・OTとして望ましい態度や行動をとることができる
- ＜ステップ2＞ 基本的な検査手技ができる（対象者の全体像を把握できる）
- ＜ステップ3＞ 対象者の全体像をまとめ、作業療法計画を立案・実施できる
- ＜ステップ4＞ カンファレンスで適切な報告ができる（予後予測を含む）
- ＜ステップ5＞ 退院に向けた準備ができる（家族指導・書類など）
組織の管理・運営について理解することができる
- ＜ステップ6＞ 指導ができる（後輩・学生）
- ＜ステップ7＞ 自分の考えをまとめて発表できる（学会・部署内の研修会など）

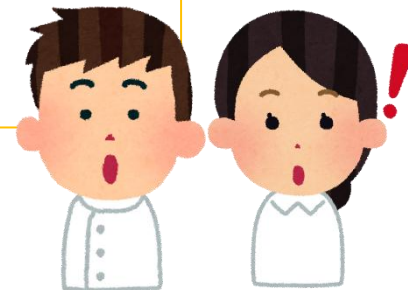


上記のステップごとに下位の評価項目があり、自己評価・他者評価を行っています。

作業療法室の教育体制④

作業療法室では、以下の勉強会等を企画し、
スタッフの知識や技術の標準化に努めています。

1. 症例検討会
2. ADL動作分析の勉強会
3. 評価および訓練技術の獲得に向けた練習
4. 各種学会での演題発表者による予演会
5. 各種研修会・学会参加者からの伝達講習会
6. その他



作業療法室の資格取得への取り組み

現在、当院の作業療法士が取得または取得予定の資格は以下の通りです。

患者様へ質の高いリハビリテーションを提供するため、資格取得に向けたスタッフの意欲を支援しています。

心臓リハビリテーション指導士、NST専門療法士、
回復期認定セラピストマネジャー、ケアマネジャー、
日本作業療法士協会 認定作業療法士



職員の声①

➤ 作業療法士 3年目

明るく笑顔が多い職場です。困ったときにはいつでも相談に乗ってくれる先輩がいるのはとても心強く、自信を持って仕事に取り組むことができます。院内での勉強会や研修会など、学ぶ機会が多くあるのも魅力の1つです。

患者様の希望や価値観から一緒に目標を立て、達成できたときの患者様の笑顔を見ると、この仕事をやって良かったなと心の底から思います。患者様の長い人生の中で見れば一瞬で過ぎてしまう入院生活ですが、患者様の「今まで」を見て「これから」の生活に深く関わるのが私たちの仕事です。

患者様のより良い生活を目指して、一緒に働いてみませんか？



職員の声②

➤ 作業療法士 10年目

子育てしながら働いていますが、子どもの急な体調不良などで休みを取る際もスタッフ同士でフォローし合える環境があり、安心して働いています。また、勉強会や研修会が多く、スタッフの在籍人数も多いことから、様々な視点から技術やアイデアを学べ、アドバイスを頂けることも魅力のひとつです。作業療法を通して、一人ひとりの生活に寄り添い、その人らしい生活を支援できることにやりがいを感じています。

是非、患者様の生活支援の手助けを一緒にしませんか？



職員の声③

➤ 作業療法士 16年目

急性期・回復期・外来・訪問でのリハを経験してきました。

患者様の「できた！」と一緒に喜ぶこともあれば、できないもどかしさや機能を維持することの難しさを目の当たりにし、自分の無力を痛感することもあります。悩んだ時には経験豊富な先輩がたくさんいますので、相談したりアドバイスを受けてたりできます。

勉強会や研修会で知識を深めることができる環境も当院には整っています。患者様一人ひとりの人生を支援するために、一緒にOTとして成長していきませんか？



より質の高い“作業療法の提供”を目指して

当院には約80名の作業療法士が在籍しており、患者様がその人らしい生活を取り戻すため、個々の目標に合わせた作業療法が提供できるように教育に力を入れています。

また、急性期・回復期・生活期と、様々な対象者と関わることができる環境です。

私たちと一緒に働きませんか？

元気で意欲的な方を募集しています。



作業療法室長 算用子 暁美